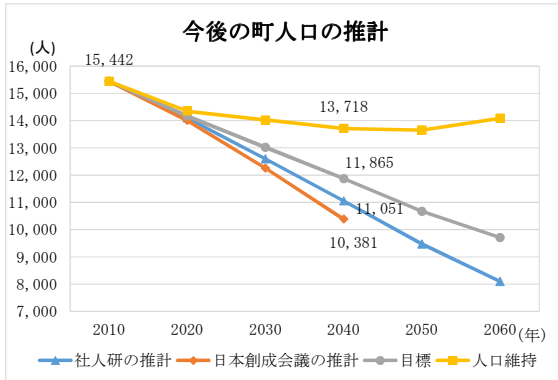


北栄町公共施設白書を作成しました

町が保有する公共施設（建物施設）の基本的な情報や、収支の状況、利用者数等の情報をまとめた「北栄町公共施設白書」を作成しました。

今後の人口の見通しと公共施設等の整備や維持に係る財政状況は？

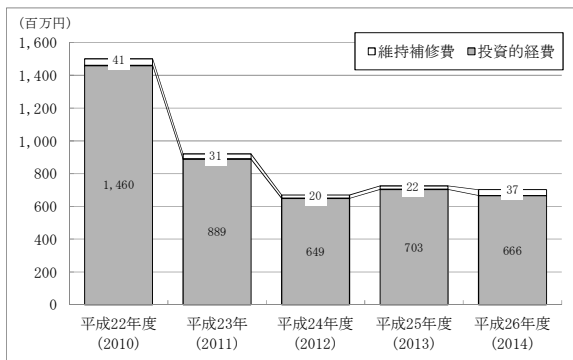
＜今後の人口の見通し＞



国立社会保障・人口問題研究所（社人研）によると、現在およそ 15,000 人の人口が 25 年後の平成 52 年（2040 年）には約 11,000 人になると推計されています。

平成 27 年 12 月に町が作成した人口ビジョンでは、平成 52 年には 2 割減の約 12,000 人とどめとする目標を設定しています。

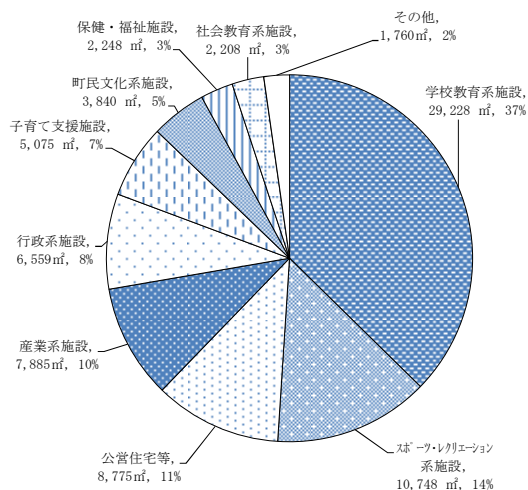
＜公共施設等の整備・維持に係る財政状況＞



公共施設や道路等のインフラの整備にかかる投資的経費や、その維持にかかる維持補修費は、学校の耐震工事を行った平成 22 年度を除き 7 億円～8 億円程度で推移しています。

人口減少により歳入も減少することが見込まれ、公共施設やインフラの整備や維持にあてられるお金は減っていくことが見込まれます。

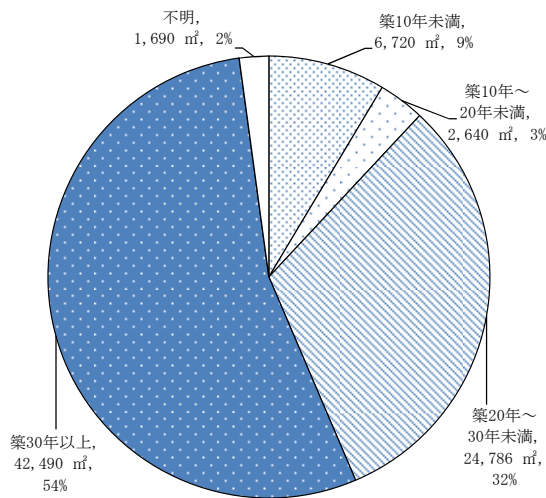
公共施設（建物）はどれくらい整備されているの？



町の保有する公共施設（建物）の延床面積は、およそ 78,326 m²であり、住民 1 人あたり 5.0 m²となっています。

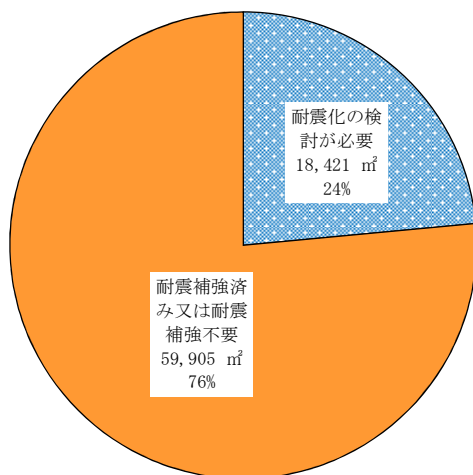
小中学校の学校教育系施設が全体の 37% を占めており、次いで体育館等のスポーツレクリエーション系施設が全体の 14%、公営住宅等が全体の 11% となっています。

公共施設はいつごろ建てられたの？



町の公共施設は、現時点で築30年以上経過している公共施設も延床面積ベースで全体の54%を占めています。築20年から30年経過している施設も全体の32%を占めており、施設の老朽化が課題となっています。

公共施設の耐震化の状況は？



町の保有する公共施設のうち、耐震化対策が済んでいない施設は延床面積ベースで全体の24%となっており、耐震化対策や耐震性に問題のない類似施設との統廃合を検討する必要があります。

小中学校の全4校をはじめ、新耐震基準のもとで建築されている施設又は耐震化済みの施設は全体の76%となっています。

公共施設に関する今後の取り組みは？

今後の人口減少や歳入の減少に対応するため、今後の公共施設やインフラ（道路・公園等）の今後のあり方をまとめた「(仮称)北栄町公共施設等総合管理計画」を平成28年度にとりまとめます。

以上